

2013 Cal Poly Summer Seminar

[2013年カリフォルニア州立工科大学ポモナ校夏季セミナー]

～ グローバル・次世代高度IT人材育成 ～

-日本の森を外から見よう:森の中から森は見えない-

[企業の経営戦略に同期した情報システム構築の為に]

超上流の要求マネジメント

Business と ICT を **Innovative** に融合、デザイン、提案できる
人材育成を米国で学ぶ実践セミナー

Peter Drucker の愛弟子 Innovative な教授博士達から学ぶ

”PBL: Project Based Learning”

自社 ptoject で“Learning by Doing”「理論と実践」

カリフォルニア州立大学院正規クラス参加可能

クラウド新時代のビジネスモデルとIT戦略を体得する。

BABOK ビジネスアナリストを米国で学ぶ実践セミナー

国際ビジネス・アナリスト協会 (IIBA BABOK) 公認コース

総合コース研修期間:2013年7月1日(月)～8月23日(金)

企画

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校
(California State Polytechnic University POMONA)

情報工学部 教授 一色浩一郎

後援

社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

国際ビジネス・アナリスト協会 (IIBA BABOK)

旅行手配

株式会社 P T S (観光庁長官登録旅行業務 39号)

2013 Cal Poly Summer Seminar

[2013年カリフォルニア州立工科大学ポモナ校夏季セミナー]

グローバルな人材育成

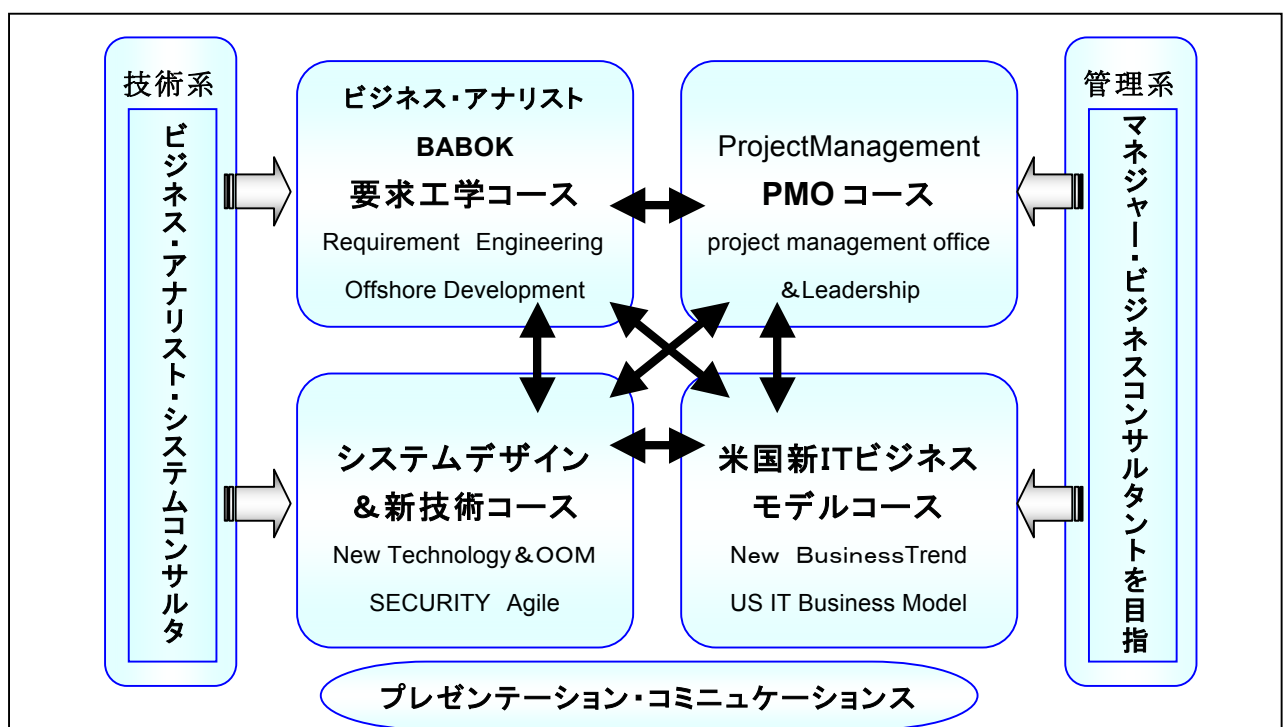
1. 当セミナーの目的:参加者にグローバル・次世代高度人材になっていただく。
2. グローバルな人材とは:日本だけでなく、世界のどこにいても、仕事ができることです。
日本の森を外から見てみましょう。森の中から本当の森の全体はみえません。
3. セミナーの進め方:自社のプロジェクトをもってきて要求工学の理論と実践、演習を通して、innovativeなnew business processのデザインをします。新しいNew System提案、Agile開発を構築し、成果物を日本に持ち帰ります。日本でやるよりも、Innovativeで、正しく、早く、安く、実際のシステム、またはプロトタイプ構築ができます。その理論と実践の経験を日本で、即、応用に移すことができる人材になることです。上記のような、新しいビジネス・アナリストを育てるのが目的です。

Innovativeな人材育成セミナー

オープンな考え方の米国でピータードラッカー博士のInnovative Thinkingを博士の愛弟子教授陣によるBABOKのskill setsの応用を持参の自社プロジェクトに反映、理論と実践をPBL(Project Base Learning)を通して、実践するセミナーです。

近年のIT業界環境は継続的に中国やインドを活用したオフショア開発の広まりで、システム開発の国際的分業化が続いています。さらに、米国で始まったクラウド・コンピューティングの波は、アジャイル経営に適したIT利活用策として全世界的に拡がり、GlobalでInnovativeな人材育成が急務になっています。

「グローバル次世代ITプロフェSSIONAL人材育成総合コース」



■ プログラムの特色

1. 理論と実践の両面から PBL(Project Based Learning)による講義演習

次世代ITプロフェッショナルを育成するために、PBL では、自社 Project を”Learning by Doing”。まず、多面的な理論を講義した後、これが本当に身に付くように自社 project を Project Based Learning で実践の演習を集中的に行います。すなわち、「理論と実践」を繰り返します。当大学の教授は、理論だけでなく実践を指導できるために、企業でのコンサルティング経歴が採用と継続の条件となっています。Peter Drucker の愛弟子も多く、Innovative Thinking も重要視しています。

2. ビジネスアナリシス、BABOK、要求工学

当大学は**国際ビジネス・アナリスト協会（IIBA BABOK）公認コース**として EEP に認定されているため、**CCBA や CBAP 受験の CDU 取得ができます**。ビジネスアナリシスにとって、BABOK は知識体系なので、これを実践するためのプラクティスとして要求工学を学びます。

3. ビジネスアナリシスの大学院コースへの自由な参加

ビジネスアナリシスの更なる課題については、大学院コースに自由に参加することで、参加者の個々の要望に沿うことができます。

1. 授業のねらい

パッケージ導入、そしてスクラッチ開発(個別開発)だけでなくクラウド・コンピューティングにおいても、企業の実現やビジネス課題解決のための適切なビジネス要求を開発するビジネスアナリシスが重要となります。

- ビジネスアナリシスを実践するため、要求工学アプローチ(要求引き出し・仕様化・検証・管理)による要求の定義・管理を理解し演習する。
- ビジネスアナリシスを成功させるために、PMO の考え方を基盤として、ITプロジェクトマネジメントの実践方法を学習する。
- 要求を実現するために、今日的なシステム開発手法(Agile)やシステムデザインの方法論をもとにして、ソフトウェアのムダ・ムリ・ムラなどを基盤にした効率的開発を学ぶ。
- 米国の最先端のクラウド・コンピューティング、仮想化、グローバル戦略のための Predictive Analytics など、先進的技術を学ぶ。
- 米国における、ITを活用したビジネスモデルや先進的なITトレンドを企業訪問などで体感する。

2. 関連科目

- ・BABOK、ビジネスアナリシス、要求工学（前述）
- ・**PMO、PMBOK(プロジェクトマネジメント技術)**
米国ではPMOは、ユーザー企業の中において、ビジネスアナリシスや要求の定義・管理して SOW 定義と RFP 作成のために設置されます。
- ・**ソフトウェア工学**・OOM(オブジェクト指向方法論)・セキュリティー先進技術(コンピュータフォレンジック)・システム開発(RUP)システムデザイン方法論・アジャイル開発論・Web2.0-3.0・Enterprise 2.0 先端技術各種法
・PodCast技術法(RSS)実践論・GIS、GPS 技術論 AP 技術論・アウトソーシング方法論
- ・プレゼンテーションスキル・コミュニケーションスキル・リーダーシップスキル実習

これらの授業においては、最初は、英語の授業に慣れるために日本語を交えながら授業を行い、その後、英語でCalPoly教授および一流専門家が授業を担当します。

3. 成果と目標

セミナーでは、リーダーシップを備えてフレキシブルなグローバル次世代ITプロフェッショナルを育成します。これは、BABOK、ビジネスアナリシス、要求工学、PMO や新しいシステム開発の方法論と技術を習得した、クラウド・コンピューティングやアジャイル開発にも対応できる高度なIT人材の事です。このため、前述の4種類のコースを総合設定しました。

2013年カリフォルニア州立工科大学ポモナ校セミナー暫定スケジュール

*講義内容、研修日程、参加費は変更になる場合がございます。

コース	講義内容	研修日程	研修期間	研修参加費 (予価)
総合コース	下記 A, B, C, D, E, F コース 全カリキュラムを履修いたします。	7/1(月)~8/23(金)	8週間	195万円
Aコース	要求工学 & PMO コース Requirement Engineering, Offshore Development, RFP Leadership	日程調整		
Bコース	システムデザイン & 新技術コース New Technology & OOM SECURITY Agile 開発	日程調整		
Cコース	米国新ITビジネスモデルコース New BusinessTrend, US IT Business Model SaaS, Cloud Computing, Enterprise 2.0 Web Models	日程調整		
Dコース	米国新ITビジネスモデルコース New BusinessTrend US IT Business Model Podcasting, Webcasting	日程調整		
Eコース	Security and Forensic ビジネス開発 コース	日程調整		
Fコース	World Rated number one 会社研修訪問コース	日程調整		

総合コースは、A~F コースをミックスした、新しい環境に対応できる IT の専門家を養成・訓練する理論と実践のセミナーです。ご要望があれば、A~F コースの選択参加も可能です。(応相談)

■総合コースは、プレゼンテーション・コミュニケーションスキル演習が、実践必須となります。

※上記総合コース参加者には、日本において日本語での事前研修会(2回/3日間程度、期間・時期は別途調整)が開催されます。

*研修期間に、渡航日程は含まれておりません。 *研修参加費に、旅行代金は含まれておりません。

各コースのポイント

総合コース

上流工程のビジネス・アナリスト、ソフトウェア・アーキテクチャ、ITストラテジスト育成。

上流工程、外部設計のビジネス・アナリスト、ITアーキテクト、ITストラテジスト、プロジェクト・マネジャー、養成 BABOK 広義要求工学、PMO、PMBOK and RFP Leadership Certificate

■ クラウド・コンピューティング・アジャイル開発、要求工学 PMOPMP 行動工学 コース ■

- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)で経営とITの同期
- ◆ 広義要求工学((上流工程向け)で、ユーザー定義や要求仕様書をしっかりと
- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)で、プロジェクト・スコープ(日本あいまい)が確実に
- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)で、プロジェクトが期日内・バジェット内で終わる
- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)は、アウトソーシング、オフショア開発を成功させる必需品
- ◆ PMOで要求獲得、要求仕様書、要求検査、要求管理
- ◆ SOW(Statement Of Work)の作り方、PMO-PMP の基本
- ◆ SOW と仕様書なくして、RFP はできない

- ◆ 日米の文化的な違いを考察
- ◆ グローバル化への対応、国内国外での応用
 - 内部設計の PM, Project Leader, PMO、プロセス・アナリスト 育成
 - 中流工程、内部設計システム・エンジニア、ソフトウェア・アーキテクト、プロジェクト・リーダー、PMB, プロセス・アナリスト、クラウド・コンピュー、Rule Based Non Programming, OOM Agile 開発 Certificate
- 要求工学による要求定義、RFP, OOM Agile, Round Trip Engineering 開発 コース ■
- ◆ SOW(statement of Work)の作り方、PMO-PMP の基本
- ◆ SOW なくして、仕様書はできない
- ◆ SOW と仕様書なくして、RFP はできない
- ◆ PSP で個人開発向上と TSP でチーム開発の向上
- ◆ 日米の文化的な違いを考察
- ◆ グローバル化への対応、国内国外での応用
- ◆ アウトソーシング、オフショア開発で、成功している米国企業の研究、考察
- ◆ 日本向けアウトソーシング、オフショア開発の成功する研修、モデル提案
- ◆ アジャイル開発研修、経験、プロト開発
- ◆ Crystal methodology, Scrum FDD, eXtreme Programming
- ◆ Rule Based Decision Tables, Rule Based Non Programming 開発
- ◆ ラウンド・トリップ・エンジニアリングで開発経験
- ◆ 要求検査、業務要求テスト

Aコース 上流工程のビジネス・アナリスト、ソフトウェア・アーキテクト、ITストラテジスト育成

上流工程、 外部設計のビジネス・アナリスト、IT アーキテクト、ITストラテジスト、プロジェクト・マネジャー、養成 BABOK 広義要求工学、PMO、 PMBOK and RFP Leadership Certificate

- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)で経営とITの同期
- ◆ 広義要求工学((上流工程向け)で、ユーザー定義や要求仕様書をしっかりと
- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)で、プロジェクト・スコープ(日本あいまい)が確実に
- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)で、プロジェクトが期日内・バジェット内で終わる
- ◆ 広義要求工学(上流工程向け)は、アウトソーシング、オフショア開発を成功させる必需品
- ◆ PMO で要求獲得、要求仕様書、要求検査、要求管理
- ◆ SOW(statement of Work)の作り方、PMO-PMP の基本
- ◆ SOW なくして、仕様書はできない
- ◆ 日米の文化的な違いを考察
- ◆ グローバル化への対応、国内国外での応用

Bコース 内部設計の PM, Project Leader, PMO、プロセス・アナリスト育成

中流工程、内部設計システム・エンジニア、ソフトウェア・アーキテクト、プロジェクト・リーダー、PMBOK, プロセス・アナリスト、クラウド・コンピュー、OOM Agile 開発 Certificate

■ 要求工学による要求定義、RFP, OOM Agile, Round Trip Engineering 開発 コース ■

- ◆ SOW(statement of Work)の作り方、PMO-PMP の基本
- ◆ SOW なくして、仕様書はできない
- ◆ SOW と仕様書なくして、RFP はできない
- ◆ PSP で個人開発向上と TSP でチーム開発の向上
- ◆ 日米の文化的な違いを考察
- ◆ グローバル化への対応、国内国外での応用
- ◆ アウトソーシング、オフショア開発で、成功している米国企業の研究、考察
- ◆ 日本向けアウトソーシング、オフショア開発の成功する研修、モデル提案
- ◆ アジャイル開発研修、経験、プロト開発
- ◆ Crystal methodology, Scrum FDD, eXtreme Programming
- ◆ Rule Based Decision Tables, Rule Based Non Programming 開発
- ◆ ラウンド・トリップ・エンジニアリングで開発経験
- ◆ 要求検査、業務要求テスト

Cコース ビジネスモデルの上級マネジメントの育成

米国Virtualaization, SaaS・Cloud Computing・Enterprise 2.0 Business Models Certificate

■USVirtualization, SaaS Cloud Computing, Enterprise 2.0 New Business Model 会社研究訪問

Entrepreneur コース

- ◆ このコースでは、米国の色々な新しいビジネスを採掘、評価、日本向けに考察提案
- ◆ エンタープライズ 2.0 で、あたらしいビジネス・モデルの採掘、研修、考察提案
- ◆ Cloud Computing, SaaS の新しい応用で、new ビジネスの採掘、評価、考察提案
- ◆ Private, Public, Hybrid Cloud Computing の新しい応用で、new 採掘、評価、考察提案
- ◆ Virtual Computing の新しい応用で、new ビジネスの採掘、評価、考察提案
- ◆ Predictive Analytic Computing の新しい応用で、new ビジネスの採掘、評価、考察提案
- ◆ Podcasting, Webcasting で、new ビジネスの創造、採掘、評価、考察提案
- ◆ 世界一の会社研修と訪問で、新しいビジネス・チャンスを掴む
- ◆ 日米の文化的違いを考察
- ◆ グローバル化に対応し、国内国外での応用

D コース Webデザイン・最新ポッドキャストなどのビジネスデザインの育成。

Podcasting, Webcasting Enterprise 2.0 Certificate

■ POD Web casting デザイン、ビジネス開発 コース ■

- ◆ Enterprise 2.0 で新しい開発環境と情報共有で新しいビジネス
- ◆ Podcasting, webcasting で、社内メールが、いらなくなる
- ◆ 社長は社内に Podcasting, Webcasting でコスト削減
- ◆ 社長はお客に Podcasting, Webcasting でコスト削減と効果倍増
- ◆ Podcast,webcast で、new ビジネス・モデルを続出、発掘、研究、考察提案

E コース フォレンジックなどをベースにしたセキュリティスペシャリストの育成。

■ Security and Forensic ビジネス開発 コース ■

- ◆ SOX 法による内部統制に、必須のセキュリティーの研修、考察、日本向け提案
- ◆ 新しいセキュリティーの応用を採掘、研修、自社内に提案方法
- ◆ Forensicで、new ビジネス
- ◆ Security はコンプライアンスには必須
- ◆ ソーシャル・エンジニアリングの増加
- ◆ 新しい new ビジネスを Security で始めよう！

F コース 米国流ビジネスモデルなど上級マネジメント管理者の育成。

■ マネジメント向けUS世界一会社研究訪問コース ■

How and What makes the world rated number one companies in the industry

- ◆ 世界一の会社研修と訪問で、新しいビジネス・チャンスを掴む
- ◆ どの様にして世界一になった ◆ 世界一になるためには何をすべきか
- ◆ Outsourcing World Number One: TATA ◆ Network World Number One: CISCO
- ◆ Security World Number One : Symantec ◆ Satellite Rocket World Number One: NASA JPL
- ◆ GPS and mapping Data base World Number One: ESRI

※ 企業の都合で、訪問先が変更になる場合があります。

総合コースにご参加の場合には、本紙 7～8 ページでご案内しております
日程でのご参加をお願いいたします。

一色 浩一郎(いっしき こういちろう)教授 Dr. KoichiroIsshiki

カリフォルニア州立大学ポモナ校のコンピュータ情報工学教授で、コンピュータソフトウェアの世界的権威。1941年京都生まれ、四国・松山育ち。1971年、UCLA(カリフォルニア大学、ロサンゼルス分校)で博士課程を終えた後、準教授を経て、1980年に教授就任。大学ではITの最先端情報学の教壇に立ち、米国のNCC(National Computer Conference)では委員長、講演者として著名。日本では、新聞社との共催講演をはじめ、多くのシンクタンク系企業、コンピュータ関連企業、団体等で講演を行っています。

研修参加費に関する注意事項

- ・研修参加費は、消費税対象外です。
- ・研修参加費には、研修費及び現地宿泊費等が含まれます。(6 ページ参照)
- ・研修参加費の他に、別途現地までの交通費が必要です。
- ・詳細の金額は 2013 年 5 月中旬頃に確定いたします。(日程と参加人数により変動する場合があります)

研修参加費の内訳

参加費に含まれるもの	参加費に含まれないもの(一例)
<ul style="list-style-type: none">・研修費 (授業料、学内施設利用料、入学式・卒業式費用等)・現地宿泊費用 (ShiloInn, University Village)・総合コース事前研修会費用 (総合コース・Aコース: 2 回、B～Fコース: なし)・総合コース・Aコース: 事前懇親会費用(1 回) (B～Fコース: なし)・主催者費用(事務局運営費、研修準備費用等)・歓迎夕食会費用	<ul style="list-style-type: none">・航空運賃、空港税、燃油サーチャージ・ロサンゼルス空港～ポモナ間 往復交通費・渡航手続き手数料・レンタカー代(約 45 万円/7 週間)、ガソリン代、駐車場費用・携帯電話レンタル料、通話料・個人海外傷害保険(必ず加入してください)・現地での食費、生活費・研修中の諸費用 (パソコン、OA、消耗品、テキスト、文房具等)・大学教授や企業訪問先へのおみやげ・パスポート取得に関わる費用・自宅～成田空港までの往復交通費や宿泊費・現地での教授陣とのパーティー費用・個人的な費用(観光含む)

※レンタカーおよび携帯電話についてはオプションとしてご案内する予定です。

注意点

大学施設について

図書館、食堂、売店等については通常の学生と同様に使用できます。通常、毎日の通学はレンタカーを利用しています(駐車場有料)。

宿泊先について

基本的に、大学の学生アパート(University village apartment)にて現地学生と同居生活を行います。学生アパートにはベッド、机、キッチン、冷蔵庫など生活の基本的な設備が備わっている他、大学 LAN も敷設されておりインターネット接続も可能です(学校でも宿泊先でもメール使用は可能です)。ただし、宿泊先は現地の状況とスケジュールに応じて変更される場合があります。

その他

ここに記載のない内容・条件については、最終日程表、及び旅行主催社旅行業約款によるものとします。尚、国際情勢について緊迫した状況が発生し、開催期間中の安全が確保できないと判断した場合には開催を取り止めることもあります。また、最少催行人員(10名)に満たない場合も実施を取り止めることがあります。また、SE 派遣元のスポンサー様には「研修成果発表会」及び「卒業式」への参加ツアーが別途企画されます。(任意参加)

米国問い合わせ・申込み先

カリフォルニア州立工科大学 <http://www.csupomona.edu>

セミナー・サイト説明: <http://www.SEI-CPP.COM>

教授 一色 浩一郎 (現地担当)

住所: California State Polytechnic University, Pomona 3801 Temple Ave., Pomona, CA.91768 USA

TEL: (909)869-3240 FAX: (909)869-4353 E-mail: krisshiki@csupomona.edu

日本事務所: 問い合わせ・申込み先

Cal Poly 事務局 カリフォルニア州立大学ポモナ 日本代表

牧 壮 (牧アイテイ研究所) 住所〒212-0054 川崎市幸区小倉 I -1 G-2208

TEL 090-1203-2208 E-mail: tmaki1936@gmail.com

2013年 Cal Poly SE 研修 総合コース 日程表

日次	月日 (曜日)	都市名	交通 機関	現地 時刻	摘要	食 事	日本と の時差
						朝昼夕	
1	6/29 (土)	東京(成田)発 ロサンゼルス着 ロサンゼルス発 ポモナ着	航空便 レンタカー	夕刻 ... 午後 午後 夕刻 夜	空路、ロサンゼルスへ[国際日付変更線通過]..... 到着後、レンタカー手続 レンタカーにて大学のヴィレッジへ 歓迎夕食会	—機 機×○	±0 -16
2 ↓ 56	6/30 (日) 7/1 (月) ↓ 8/23 (金)	ポモナ滞在 研修		終日	■研修 *滞在中、食事は含まれておりません [University Village 泊]	×××	-16
57	8/24 (土)	ポモナ発 ロサンゼルス着 ロサンゼルス発	レンタカー 航空便	午前 午後	Village よりレンタカーにて空港へ 空路、帰国の途へ[国際日付変更線通過].....	×機—	-16
58	8/25 (日)	東京(成田)着		午後	通関後、空港にて解散	機—	±0

時間帯の目安 午前 6:00-12:00 午後 12:00-18:00 夕刻 16:00-18:00 夜 18:00-24:00

*現地スケジュールは、大学や訪問企業の都合により変更になる場合がございます。

*現地時刻は、天候や交通事情などにより変更となる場合がございます。

■利用予定航空会社 : シンガポール航空、アメリカン航空、デルタ航空(エコノミークラス)

■利用予定宿泊施設 : Shilo Inn (6/15~18・3泊)、University Village (6/18~8/10・53泊) *大学手配

■食事欄 : ○...ホテルまたはレストランにて、機...機内食、×...なし

【個別日程にて参加希望の場合】

A~Fコースのご希望、または上記行程以外のご希望がございましたら、別途手配をさせていただきますが、航空運賃差額などが生じる場合がありますので、別途お見積をさせていただきます。

お申し込み方法

参加費用

申込締切日

研修参加には、ご旅行代金＋研修参加費用が必要です。

1.ご旅行代金(お一人様) 総合コース : 220,000 円 燃油サーチャージ(2012年11月5日現在 52,000円)別
A～Fコース : (株)PTSにて、個人手配旅行として承ります。別途お見積もりをいたしますので、ご希望の日程をお知らせ下さい。

2.研修参加費(お一人様) 総合コース 195万円

お申し込み方法

募集人員

各コース 15名様(最少催行人員 10名様)

別途お渡しする「お申書」に必要事項を記入の上、申込金 30,000円 (旅行代金の一部に充当します)を添えて、(株)PTS宛にお申し込みください。申込金の入金が確認された時点で旅行契約が成立いたします。尚、一括でお支払いいただくことも可能です。請求書を発行いたしますので、お手元に届き次第、お手続き下さい。

銀行名 : みずほ銀行 池袋西口支店
 口座番号 : (普通) №1935102
 口座名 : (株)PTS

◆ESTA(米国渡航認証システム)について

2009年1月12日以降に米国に入国する方は渡航認証の取得が必要です。インターネットを通じて米国当局のウェブサイト (<https://esta.cbp.dhs.gov/>) にアクセスし、その画面上で申請し手続きします。弊社にて代行申請させて頂くことも可能です。その場

総合コース・ご旅行条件(要旨)

総合コース以外にご参加のお客様には、別途ご旅行条件をご案内いたします。詳しくは担当者にお問い合わせ下さい。

◆ ご旅行代金に含まれるもの

- ① 航空運賃: 日程表に記載された区間(成田空港発着・エコノミークラス)*マイルージ利用のグレードアップは不可
- ② 日程表に記載された区間利用時、成田空港施設使用料(2,540円)、米国空港税
- ③ 手荷物運搬料金 ※航空会社規定内 ④ 渡航手続き手数料(ESTA申請代行手数料を除く)

◆ ご旅行代金に含まれないもの *上記『ご旅行代金に含まれるもの』以外は、旅行費用に含まれておりません。

- ① 燃油サーチャージ(2012年11月5日現在 52,000円 *金額は変更になる場合があります。)
- ② 宿泊費用(大学側手配にて、研修参加費に含まれます。)
- ③ 食事費用(現地到着日の歓迎夕食会費用のみ研修参加費に含まれます。)
- ④ 超過手荷物運搬料金 ⑤ 発着空港(成田空港)までの国内交通移動費用、前後泊費用
- ⑥ 現地滞在諸費用(交通費、食費、通信費等)
- ⑦ ESTA(米国電子渡航認証システム)登録実費(\$14)、申請代行手数料(4,200円)
- ⑧ 添乗員同行、現地係員サポート費用
- ⑨ 個人的性質の諸費用: クリーニング代、電話代、飲食代などの個人的性質の諸経費およびサービス料
- ⑩ 任意の海外旅行傷害保険料 ⑪ 現地におけるオプションツアー(小旅行)参加代金。

◆ 旅行契約の解除(お客様の解除権)・払い戻し⇒研修参加取消に要した実費は、別途ご負担いただけます。

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。既に収受している旅行代金(あるいはお申し込み代金)から所定の取消料を差し引いて、払い戻しいたします。

旅行契約の解除期日	取消料(お一人あたり)
旅行開始日の前日より起算してさかのぼって30日目にあたる日以降 3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始前々日以降当日まで(無連絡不参加および旅行開始後を除く)	旅行代金の50%
無連絡不参加および旅行開始後	旅行代金の100%およびお取り消しまでに要した実費

◆(株)PTSの責任

旅行手配 / お申し込み先

当社は旅行契約の履行にあたって、当社又は当社が手配を代行させるものの故意または過失により、お客様に損害を与えた時は、その損害を賠償する責に任じます。ここに記載のない事項につきましては、観光庁長官届出済当社旅行業約款の定めるところによります。詳しい旅行条件を説明した書面を用意しておりますので、お問い合わせください。

(募集要項作成:2012年11月5日)

株式会社 PTS/IT 旅行開発室

(観光庁長官登録旅行業第39号・JATA正会員)

(総合旅行業務取扱管理者 伊藤 章浩)

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-13-2 高田馬場 TSビル

TEL: 03-5950-5921 FAX: 03-5950-6191

E-mail: ittour@ptsnavi.jp

担当: 田口 (月~金 09:30~18:30/土・日・祝日休)

株式会社 PTS 個人情報保護方針

制定 平成18年12月11日

改訂 平成23年02月11日

株式会社 PTS

代表取締役社長 村山 真実

当社は、旅行業務において当社が取り扱う全ての個人情報の保護について、社会的使命を十分に認識し、本人の権利の保護、個人情報に関する法規制等を遵守します。また、以下に示す方針を具現化するための個人情報保護マネジメントシステムを構築し、最新のIT技術の動向、社会的要請の変化、経営環境の変動等を常に認識しながら、その継続的改善に、全社を挙げて取り組むことをここに宣言します。

1. 個人情報は旅行業務において当社の正当な事業遂行並びに従業員の雇用、人事管理上必要な範囲に限定して、取得・利用及び提供をし、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための措置を講じます。
2. 個人情報保護に関する法令、国が定める指針及びその他の規範を遵守致します。
3. 個人情報の漏えい、滅失、き損などのリスクに対しては、合理的な安全対策を講じて防止すべく事業の実情に合致した経営資源を注入し個人情報セキュリティ体制を継続的に向上させます。また、万一の際には速やかに是正措置を講じます。
4. 個人情報取扱いに関する苦情及び相談に対しては、迅速かつ誠実に、適切な対応をさせていただきます。
5. 個人情報保護マネジメントシステムは、当社を取り巻く環境の変化を踏まえ、適時・適切に見直してその改善を継続的に推進します。本方針は、全ての従業者に配付して周知させるとともに、当社のホームページ、パンフレットなどに掲載することにより、いつでもどなたにも入手可能な措置を取るものとします。

個人情報の取り扱いについて

1. 事業者の名称

株式会社 PTS

2. 管理者(若しくはその代理人)の氏名又は職名、所属及び連絡先

管理者名: 個人情報保護管理責任者 お客様相談室長 所属部署: 株式会社 PTS お客様相談室 連絡先: 電話 03-5391-1939

3. 個人情報の利用目的

項目名	利用目的
(1) ご本人より書面等(ホームページや電子メール等によるものを含む。以下「書面」という)に記載された個人情報を直接取得する場合の利用目的	
お客様情報	・旅行、会議、イベントの予約手配、商品の発送 ・関連するアフターサービス ・登録者へのメールマガジンの配信 ・新商品・サービスの案内 ・お問合せ・資料請求の受付とその連絡 ・アンケートのお願い
取引先情報	商談及び業務上の諸連絡、受発注業務、請求支払業務のため
社員情報	社員の人事労務管理、業務管理、健康管理、セキュリティ管理のため
採用応募者に関する個人情報	採用応募者への連絡と当社の採用業務管理のため
(2) ご本人より書面以外で直接個人情報を取得する際の利用目的	
お客様情報	お申し込みの旅行等の内容確認(通話記録)、アンケートの集計等を含む受託業務の遂行のため
(3) 取引先から個人情報を委託される場合の利用目的	
お客様情報	お申し込みのご旅行の予約・手配およびダイレクトメール発送のため

上記のほか当社では、受託した業務の遂行に必要な範囲内でお客様の個人情報を利用する場合があります。

4. 個人情報の第三者提供

当社では取得した個人情報を、業務目的の達成に必要な範囲において、以下の要領で第三者に提供する場合がございます。

(1) 第三者に提供する目的	旅行手配及び承ったサービスの手配に必要な予約及び手続き、新商品・サービスに関するお知らせのため
(2) 提供する個人情報の項目	氏名、住所、会員番号、Eメールアドレス等
(3) 提供の手段又は方法	ファイルにパスワードをかけて保存した上で、Eメールに添付して送付します。
(4) 提供を受ける者の組織の種類、属性	航空会社・船舶会社等の運輸機関、旅館・ホテル等の宿泊機関のほか
(5) 個人情報の取扱いに関する契約	個人情報の取り扱いにつきましては、機密保持契約によって提供先が適切に個人情報保護を行なうよう義務付けています。

その他、当社は以下の場合にお客様の個人情報を第三者に提供することがあります。

- (1) ご本人様の同意がある場合
- (2) 法令に基づく場合
- (3) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、ご本人様の同意を得ることが困難な場合
- (4) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人様の同意を得ることが困難な場合
- (5) 国の機関もしくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、ご本人様の同意を得ることによって当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合
- (6) 業務を円滑に遂行するため、利用目的の達成に必要な範囲内で個人情報の取扱いの全部又は一部を委託する場合

5. 個人情報取扱いの委託

当社は事業運営上、お客様により良いサービスを提供するために業務の一部を外部に委託しています。業務委託先に対しては、個人情報を預けることがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等によりお客様の個人情報の漏洩防止に必要な事項を取決め、適切な管理を実施させます。

6. 個人情報の開示等の請求

お客様は、当社に対してご自身の個人情報の開示等(利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加・削除、利用の停止または消去、第三者への提供の停止)に関して、当社問合わせ窓口に出すことができます。その際、当社はお客様本人を確認させていただいたうえで、合理的な期間内に対応いたします。開示等の申し出の詳細につきましては、当社ホームページ掲載の「開示対象個人情報の請求手続きについて」をご覧ください。

7. 個人情報を提供されることの任意性について

お客様が当社に個人情報を提供されるかどうかは、お客様の任意によるものです。ただし、必要な項目をいただけない場合、各サービス等が適切な状態で提供できない場合があります。

8. ご本人が容易に認識できない方法による取得する場合について

クッキー（Cookies）は、お客さまが当社のサイトに再度訪問された際、より便利に当サイトを閲覧していただくためのものであり、お客さまのプライバシーを侵害するものではなく、またお客さまのコンピューターへ悪影響を及ぼすことはありません。

また当社のサイトでは個人情報を入力していただく部分にはすべて SSL（Secure Sockets Layer）のデータ暗号化システムを利用しております。さらに、サイト内における情報の保護にもファイアウォールを設置する等の方策を採っております。ただし、インターネット通信の性格上、セキュリティを完全に保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

9. 認定個人情報保護団体について

認定個人情報保護団体とは、個人情報保護法第37条に基づき主務大臣の認定を受けた団体で、対象個人情報の取扱いに関する苦情処理、対象事業者への情報提供等を通じ個人情報の適正な取扱いの確保を目的とする団体です。

当社が加入する認定個人情報保護団体：一般財団法人日本情報経済社会推進協会

苦情の解決の申し出先：プライバシーマーク推進センター個人情報保護苦情相談室 電話番号：03-5776-1379

【お問合せ窓口】

お客様の個人情報に関するお問合せにつきましては、下記窓口で受付けております。（※土・日曜日、祝祭日、年末年始は翌営業日以降の対応とさせていただきます。）

株式会社 P T S お客様相談室 個人情報問合せ係 TEL：03-5391-1939 （受付時間 10:00～18:00※） メールアドレス：privacy@ptsnavi.jp